

ウェルフェア in ポートメッセなごや



6月2日から3日間、ポートメッセなごやで開催された第19回国際福祉健康産業展ウェルフェア2016に出展し、家族会の活動について広報しました。愛知県作業療法士会のご協力によりブースの一部をお借りし、家族の会愛知県支部が取り組んでいる家族支援の紹介や、リーフレットの配布を行いました。ウェルフェアは毎年7万人近くの参加があり、健康や福祉に関心のある一般の方や、医療福祉専門職の方などが多く来場されます。今年も昨年同様多くの参加がありました。認知症の関心は高く、リーフレットも多くの方に受け取って頂きました。

日本認知症ケア学会 in 神戸国際展示場

配布資料をご覧になりたい方は、下記よりダウンロードしてください。

(家族の会愛知)で検索

<http://www.hearttoheart.or.jp/kazoku/>

6月4日に神戸国際展示場で開催された日本認知症ケア学会にて、家族支援のシンポジウムを行いました。シンポジウムは大盛況で、少し多めに準備していた配布資料が開始前になくなってしまい、急遽、後日ホームページから閲覧できるように対応しました。会場にはたくさんの参加者が押し寄せ、ついには室内に入りきらなくなり、入室を閉め切らなくてはならなくなりました。その後も訪れる人が途切れることはなく、入室できないことをお詫びし続けるほどでした。入室できなかった方も含めるとおよそ250名の参加がありました。

シンポジウムでは、介護者憲章や介護家族よりケアマネジャーに伝えたいことシート、家族のたどる心理ステップ、介護者の理解と支援のためのアセスメントシートなど、これまで愛知県支部で取り組んできた家族支援の具体的な方法について紹介し、その後、会場の皆さんと一緒に意見交換を行いました。会場から活発な質問や意見が出てとても充実したシンポジウムとなりました。「とてもわかりやすかったね！すぐにでも取り組みそう」などなど感想を頂きました。家族支援について関心が高まってきていること、家族を支援しようとしてくださっている専門職の方がたくさんいることにとっても勇気づけられました。

【参加者の感想】

- ・ご本人とご家族がその人らしい人生を送れるよう支えていきたいと思いました。
- ・具体的な家族支援の方向や方法を教えていただいたのがよかった。ぜひ全国展開してほしい。
- ・介護経験がある方の生の声が聞けたこと、介護経験から研究をされている先生方の想いが聞けたことはとてもよかった。
- ・家族支援を現場で実践していくための情報が得られた。持ち帰ってスタッフと共有し実践につなげていきたい。

